

平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	長期的な視点で市民の文化芸術活動への支援や特色のある創造的な事業を行うとともに、市内の文化芸術に関する情報や人材が集まり、広く交流・発信していく場として、市の文化振興の拠点の役割を果たすこと。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性の高い実演芸術の公演の提供 ・特色のある実演芸術の公演の提供 ・利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらおうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の発揮をそれぞれ期待している。	
成果指標※	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 実演芸術の公演本数 ④ 施設稼働率(楽屋除く) ⑤ 大ホール稼働率 ⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	① 使用件数(楽屋除く) ② 文化振興の拠点施設としての使用件数(楽屋除く) ③ 施設稼働率(楽屋除く) ④ ホール稼働率
数値目標※	① 355,000人以上 ② 4,400件以上 ③ 24本以上(月2本以上目安) ④ 59%以上 ⑤ 平日60%以上、土日祝78%以上 ⑥ 年間0日	① 4,100件以上 ② 平成32年度10%増(平成27年度比) ③ 45%以上 ④ 平日44%以上、土日祝76%以上
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区中央2-5-1
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	劇場法の要求を満たすべく、本市の文化振興の拠点施設を運営していくためには、長期継続的に市と一体となって文化施策を推進する役割を指定管理者が担う必要があるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 市民会館

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	355,000人以上	363,607人	102.4%
② 使用件数（楽屋除く）	4,400件以上	3,843件	87.3%
③ 実演芸術の公演本数	24本以上 (月2本以上目安)	35本	145.8%
④ 施設稼働率（楽屋除く）	59%以上	53.3%	90.3%
⑤ 大ホール稼働率	平日 60(59)%以上 土日祝 78(76)%以上	平日 60.0% 土日祝 80.8%	平日 100.0% 土日祝 103.6%
⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	年間0日	0日	100.0%

イ 文化センター

成果指標	数値目標※	H29年度実績	達成率※
① 使用件数（楽屋除く）	見直し前：4,100件以上 見直し後：3,967件以上	3,429件	86.4%
② 文化振興の拠点施設としての使用件数（楽屋除く）	平成32年度10%増 (平成27年度比)	27年度 983件 29年度 934件	95.0%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	45%以上	38.8%	86.2%
④ ホール稼働率	平日 44%以上 土日祝 76%以上	平日 45.7% 土日祝 75.7%	平日 103.9% 土日祝 99.6%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。なお、文化センター①使用件数（楽屋除く）の数値については、ホール搬入用エレベータ改修工事（平成29年10月2日から平成30年3月31日）に伴い、ホールを休館したことを踏まえ数値を見直した。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H29年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	361,533	372,288	実績－計画 0	
	計画	361,533	372,288	計画－提案 △ 19,962	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	381,495	373,844		
利用料金収入	実績	127,610	137,323	実績－計画 △ 1,428	使用件数の減少
	計画	129,038	143,581	計画－提案 △ 17,329	文化センター工事休館による減少
	提案	146,367	143,581		
その他収入	実績	17,376	13,246	実績－計画 △ 11,046	公演等の入場者数の見込と実績の差
	計画	28,422	24,723	計画－提案 194	
	提案	28,228	28,928		
合計	実績	506,519	522,857	実績－計画 △ 12,474	
	計画	518,993	540,592	計画－提案 △ 37,097	
	提案	556,090	546,353		

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	268,451	266,582	実績－計画 △ 8,115	人員構成の差
	計画	276,566	276,892	計画－提案 △ 2,490	人員構成の差
	提案	279,056	278,448		
事務費	実績	77,698	76,266	実績－計画 1,412	公課費（消費税）、CC手数料の増
	計画	76,286	82,495	計画－提案 △ 10,618	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	86,904	82,495		
管理費	実績	14,297	13,876	実績－計画 △ 42	
	計画	14,339	14,934	計画－提案 △ 749	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	15,088	14,934		
委託費	実績	122,518	123,458	実績－計画 △ 3,395	契約差金
	計画	125,913	129,232	計画－提案 △ 5,778	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	131,691	129,232		
その他事業費	実績	31,165	25,075	実績－計画 △ 3,545	子ども若者文化支援事業などの経費縮減
	計画	34,710	29,312	計画－提案 9	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	34,701	32,736		
本社費・共通費	実績	7,656	7,916	実績－計画 △ 852	光熱水費の減少
	計画	8,508	8,508	計画－提案 △ 142	消費税率の設定（提10%→計8%）による差
	提案	8,650	8,508		
合計	実績	521,785	513,173	実績－計画 △ 14,537	
	計画	536,322	541,373	計画－提案 △ 19,768	
	提案	556,090	546,353		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

【提案】 (市民会館) 11,849千円×33%=3,910千円 (文化センター) 11,849千円×40%=4,740千円
※算定根拠 平成28年度経常収益積算額に占める指定管理料及び利用料金等の合計金額の割合で按分した金額を算定根拠とした。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度
自主事業収入	実績 25,328	9,149
その他収入	実績 0	0
合計	実績 25,328	9,149

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度
人件費	実績 6,642	4,723
事務費	実績 16,405	4,091
管理費	実績 0	0
委託費	実績 240	0
使用料	実績 1,936	215
事業費	実績 0	0
利用料金	実績 0	0
その他事業費	実績 0	0
本社費・共通費	実績 0	0
合計	実績 25,223	9,029

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H29年度	【参考】H28年度
必須業務	収入合計	506,519	522,857
	支出合計	521,785	513,173
	収支	△ 15,266	9,684
自主事業	収入合計	25,328	9,149
	支出合計	25,223	9,029
	収支	105	120
総収入		531,847	532,006
総支出		547,008	522,202
収支		△ 15,161	9,804
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

ア 市民会館

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数 (楽屋除く)	C	
使用件数 (楽屋除く)	C	
実演芸術の公演本数	A	
施設稼働率 (楽屋除く)	C	
大ホール稼働率	C	
予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	C	

イ 文化センター

評価項目	市の評価	特記事項
使用件数 (楽屋除く)	C	
文化振興の拠点施設としての使用件数 (楽屋除く)	C	
施設稼働率 (楽屋除く)	C	
ホール稼働率	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	削減額の主な要因は消費税率の設定の差によることから、選定時の提案額と同額として評価

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	B	アーティストへ活動の場を提供したり、文化活動を担う人材の育成に努めたほか、市民に数多くの芸術鑑賞機会を提供する等、文化振興の拠点としての役割を十分踏まえた活動実績を残した。
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
アンケートの対象者について、イベント等で来場された人だけでなく、施設を借りてイベントを主催する人向けにも実施するようにされたい。	平成28年度	イベント主催者に対しても既にアンケートを実施しており、四半期ごとに集計結果を千葉市に報告している。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用におけるアンケート調査、イベントにおける顧客満足度調査
	回答者数	市民会館 延べ515件、文化センター 延べ128件
	質問項目	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照。
結果	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照。	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
市民会館小ホールのパイプ椅子に座っているのがつらい。	事業実施時に、緩和策として座布団を用意し全席に敷いた。
市民会館 洋式トイレを増やしてほしい。	早急な取換は困難であることを説明するとともに、利用可能な他の洋式トイレ等を案内した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<p>市民会館 施設利用者数、実演芸術の公演本数、大ホール稼働率、予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数について目標に達成することができた。目標未達の項目についても、使用件数は前年比4.1ポイント増加、施設稼働率は前年比5.0ポイント増加し、達成率を向上することができた。</p> <p>文化センター 半年間のホール工事休館により、リハーサルや控室として他施設の利用が減少し目標未達の項目があったものの、今年度新たに「学生割引」を導入し、利用の促進に努めた。</p>
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。</p> <p>引き続き年末年始以外の通年開館を行い、市民のニーズに最大限応える姿勢が見受けられる点や、老朽化が進む市民会館については、長期使用されている設備の点検や不具合発生時の対応を積極的に行い、使用不可能な事態が生じないよう対応している点は評価できる。</p> <p>使用件数や稼働率の落ち込みはあるものの数値目標は概ね達成していることや、収支については約1,500万円の不足が計上されているもののその主な要因が改修工事に伴う休館の影響であることを踏まえれば、計画どおりに確保できていたと考えられる。引き続き、市民ニーズを十分に踏まえた公演を実施することなど、さらなる収入確保に向けた手法を検討し、効果的・効率的な運営に努められたい。</p>
------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

- (ア) 引き続き、良好な管理運営を実施されたい。
- (イ) 指定管理者の財務状況については、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況は良好であり、倒産・撤退のリスクはないと判断される。